

第2次中央行動で上京してがんばる大阪の参加者（3/5人事院前）



2008年春闘 まっさかり

なくせ ワーキングプア めざせ 均等待遇

2008年春闘がまっさかりです。大阪府議会開会日の2月29日には「府庁包囲行動」、3月2日には「なくせ貧困！府民大集会」(扇町公園)、3月5日には第2次中央行動(東京・霞ヶ関)、3月13日は「大阪総行動」と、宣伝、集会、行動などのとりくみが旺盛に展開されています。この春闘、「最低賃金を時給1000円以上に」「医師、看護師をふやせ」「私学助成を削らないで」など、生活改善への要求は「待ったなし」です。



府議会開会日の府庁包囲行動（2/29）



扇町公園での「3・2府民大集会」(3/2)



第2次中央行動では落語家の林家木久扇、木久蔵親子もかけつけてエール（3/5）

日時だよ! 全員集合 2008年春闘期 のとりくみ&行事

- 3月20日(木・祝) イラク戦争5年「戦争やめよ」集会(エルおおさか)
- 3月21日(金) 「九条の会おおさか」憲法講演会(中央公会堂)
- 3月22日(土) 大阪原水協第46回総会&結成60周年レセプション(シティプラザ大阪)
- 3月23日(日) 2008年春闘総決起大阪自治労連交流集会(大阪市立中央青年センター)
- 4月9日(水) 憲法改悪反対「9の日」宣伝行動
- 4月13日(日) 大東市長選挙告示
- 4月19日(土) 「憲法市民講座」第一講座(大阪国労会館)
- 4月19日(土) 「友よ闘ってこそ明日がある合唱団」公演(ドーンセンター)
- 4月20日(日) 大東市長選挙投票日
- 4月26日(土) 憲法ミュージカル「ロラ・マシン物語」公演(クレオ大阪中央)
- 4月29日(火・祝) 憲法ミュージカル「ロラ・マシン物語」(大東市サターデーホール)
- 5月1日(木) 第79回大阪メーデー(大阪市北区・扇町公園)
- 5月3日(土・祝) 憲法ミュージカル「ロラ・マシン物語」(柏原市リビエールホール)
- 5月6日(火) 「9条世界会議」関西集会(舞洲アリーナ)
- 5月11日(日) 憲法ミュージカル「ロラ・マシン物語」(堺市民会館)
- 5月14日(水) 大阪自治労連第58回中央委員会(大阪グリーン会館)
- 5月15日(木)~16日(金) 自治労連第37回中央委員会(熱海市)

すべての被爆者に 原爆症の認定を

平和の思いをこめた
女性コーラス「こぶし」



原爆裁判の全面勝利をめざす近畿のつどい

原爆症の認定問題で大阪高裁の判決が5月にも出されようとしている。大きなヤマ場のいま、2月23日、大阪市北区の「いきいきエイジングセンター」で、「原爆裁判の全面勝利をめざす近畿のつどい」がひらかれ、原告団、弁護士、被爆者、支援者など200人が参加しました。つどいでは、女性コーラス「こぶし」が、「青い空は」など、平和の思いをこめた3曲のうたごえを披露して始まりました。原爆症認定訴訟の原告団が紹介されたあと、尾藤広喜弁護士(近畿弁護士団幹事長)が「原爆症認定制度改革の現状と課題」のテーマで報告しました。尾藤広喜弁護士は、国が基準の見直しに消極的なのは、認定者の数を制限したいからであり、核兵器がもたらす被害の大きさを認めたくないからと指摘し、「原爆症で苦しんでいる人のわずか1%に満たない人しか認定されないのが今の制度。原告団は3次までであるが、被爆者は高齢で原告



参加者に訴える原告団の木村民子さん

の302人のうち42人がすでに亡くなっていて、もう待てない。最高裁も、被爆した距離を基準にした国の基準はおかしいと指摘している。厚生労働省はしぶしぶ基準の見直しをはじめたが、すべての被爆者を救う基準づくりが何としても必要だ」と強調しました。原告団の木村民子さん(団長代行)は「大阪地裁の勝利判決のあと2月には、折添大臣に直接要請してきました。私たちにはもう残された時間は長くない。みんなが認定される制度に」と訴えました。

BOOK オン (本の紹介)

『日本の軍事費 -巨大なムダと利権』

編集・発行
定価 400円



昨年の守屋前防衛事務次官のゴルフ接待にはじまった日米軍事利権・疑惑事件から、2月のイージス艦と漁船の衝突事件と、防衛省・自衛隊をめぐるつぎつぎと起こる不祥事に、国民の不信感が広がっています。こうした中で、その根っこになっているのが日本の膨大な軍事予算です。日本の軍事費は2007年度予算で4兆8016億円にのぼっています。世界の第5位です。

日本は「陸、海、空軍その他の戦力はこれを保持しない」とはっきりうたった憲法9条をもっています。戦力不保持をうたった憲法をもちながら、なぜ日本はこれだけの軍事費を持つ国になったのでしょうか。医療・福祉・教育の予算が削減されているなかで、軍事費だけが「聖域」として維持しているのはどうしてでしょう。このパンフレットが日本の軍事費の実情とカラクリを暴いてくれます。

は、①制度の抜本改定をもとめる100万人署名を推進すること、②地方議会での制度の抜本改定をもとめる意見書採択運動をすすめること、③地裁、高裁の完全勝利への要請署名をすすめる、などを提起し、参加者で確認しました。